



# 成人としての 決意



加瀬 清治

私は、「成人の日」を迎えられたことは、とてもすばらしいことだと思っています。

この日を迎えられたことを家族に感謝し、今までかけた苦勞にむくいる為にも、立派になりたいと思います。

私は、二年前に高校を卒業し、社会人として働いています。その時に私は、これで一人前になったんだと思っていました。それは違ってはいなかったが、だいぶ遠い話でした。この二年、

# 成人の日に一五一名が 大人の仲間入り

好天に恵まれた一月十五日、町体育館で成人祝賀式が開かれ男子七十七名、女子七十四名の計一五一名が晴れて大人の仲間入りをしました。

成人者を代表して、鈴木 剛さんが感謝のことばを述べ、意見発表では、九名の方が力強く将来への決意を発表しました。

(発表者の中から別掲の四名の決意を紹介します)  
記念講演では、鈴木 正先生の「ハングリ―精神について」と題しての祝福の講演があり、参加者一同熱心に聞き入っていました。

式終了後はそれぞれが決意を胸に、ある人はクラス会に、ある人はお宮参りにと会場を去ってゆきました。

## 成人式を 迎えて

まだまだ子供で、自分で物事を決める事、自分で責任をとることなど、半分も出来なかったと思います。

しかし、成人の日を迎え、名実共に成人になったわけですから、物事も自分で決めます。

責任も自分でとります。それから、社会人としての友人を増し、社会人としての自覚を育てて行きたいと思っています。



青柳 全子

家族や周囲の人々の祝福を受けながら、「二十歳＝成人」としての誕生日を迎えてから半年。今日の成人式に臨み、改めて人生の一節として決意を新たにしたいと思っています。

「成人」それは一人前の人間としての権利を社会が認めてくれ、それに対して、義務、責任を負うことのできる能力を有する迄に、成長したことを示すものと考えます。

しかし、今、現在の自分を省

みて、とてもそれだけの力に達していない事を痛感するばかりです。

他人に甘え、親

の臍をかじり、これといった目標もなく、時の流れるがままに、毎日をお過ごして参りました。ある目標を達成するというこ

は、自分の一日一日の努力の積み重ねによって、初めて成し得るもので、更に、その累積により、自分の人生

が形成されるわけです。甘い考えで、平々凡々な毎日を過ごして来た私は、まだまだ子供であったと思います。

子供から大人へと脱皮し、自分の人生を築いて行く為には、精神的な支えとして、一つの信条を持つことと、経済的には決まった仕事を持つことが必要であると思っています。

比の春、短大卒業を前に、まだ就職も決まらず又、心の拠り所としての、そうした生活信条もつかんでおりません。今懸命に模索しているところですが、それらのものを見つけ名実共に成人としての社会の期待に応え、



謝辞をのべる鈴木さん

義務と責任を果たして行きたいと思っています。

これからの人生、色々な困難と出会う事が多いでしょうが、勇気と努力を持って自分なりに切り開いて行こうと、決意しております。

終りに、晴れて本日の成人式を迎えることができましたこと、二十年もの長い間、私を育て、教え、導いて下さいました家族や、学校や、社会の様々な方々に、心から感謝をしたいと思えます。



久しぶりに話はつきない